



校長室だより 2

黒部市立荻生小学校
文責：校長 寺島紀子
令和5年5月18日
5年度第6号

学校生活は みんなでつくる！一人一人がつくる！

先週12日(金)の朝は今年度第1回目のフレンド集会でした。児童会の各委員会の代表の子供たちが順に、それぞれの活動内容を紹介しました。その後は「すてきな一歩」の全校合唱、そして最後は「先生のお話」として、児童会担当の岡本先生が「全校のみんなできよりよい学校を作っていこう」と全校児童に話しました。

新型コロナの5類移行で学校に活気が増してきているからでしょうか、昨年度以上に児童会活動が活発に動き始めているように感じます。今回の集会でも、発表する方もそれを聞く方も、しっかりと落ち着いて参加し、歌声にも元気が満ちて勢いがありました。岡本先生の話の内容ともあいまって、皆で楽しい学校生活をつくっていきたい、つくっていこう、という気持ちの盛り上がりを感じました。

★「なすこことによって学ぶ」自分で工夫して取り組める体験を大切に

学校の中のいろいろな活動の中でも、学級活動や児童会活動、学校行事といった「特別活動」はとりわけ子供たちの体験活動そのものを大切にします。子供自身が「こういうことをしたい。そうしてこんな学校になればいいな」という願いをもち、自分であれこれ工夫してトライできるような余地、時には失敗もでき、そこから学べる余地を、十分保障したいと思っています。

我々教師は、手取り足取り教えたくなる「教師あるある」の心を少しセーブするのが大切かもしれません。特に高学年の子供に対しては、「今日の〇〇はどうだった？思ったとおりにできたかな？」「次はどうすればいいと思う？」といった問いかけを通して、子供自身が気づき、考え、実行する力を伸ばしていけたらよいと思います。

3年ぶりの宮野山での「連合体育大会」に向けて

明日19日(金)※はいよいよ、3年ぶりに市内の5・6年生が宮野山に一堂に会して開催される連合体育大会の日です。選手種目もコロナ前に戻し、「走・跳・投」の種目を一日かけてみっちり行います。※雨天等の場合の予備日は23日(火)

5・6年生はこの大きな大会に向けてこれまで練習を重ねてきました。朝のハードル練習は5・6年の担任の先生が付いて、また、放課後練習は全校の先生方が総出で全種目別の分担を決めて指導に当たり、練習を進めてきました。

5・6年生の子供たちが皆やる気を出し、限られた時間いっぱい楽しむように練習を重ねている姿が大変頼もしいです。またそれに付き添い励ましながら指導する先生方も本当に素晴らしい。まさに子供も先生方もチームとして一丸になっている姿だと感動しながら、私はひたすら写真を撮っていました。いよいよ本番です。がんばれ！チーム荻生！！



★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。

校長室だより第6号への感想

年 児童名

縦割りの荻っ子班で楽しく「わんぱくタイム」スタート!

去る11日(木)から2限後大休憩の「わんぱくタイム」もスタートし、今日18日は2回目の活動日でした。縦割り班(通称「荻っ子班」)ごとにグラウンドや体育館、多目的教室等を毎週ローテーションしながら使い、運動遊びに取り



り組みます。それぞれの内容は1階廊下の「わんぱくタイムけいじばん」で予告されています。

委員会活動と同じく、この活動も5・6年生が工夫しながらリードするよい機会になればと思います。そして何よりみんなで仲良く楽しく活動できることが一番です。



シリーズ「教室におじゃまします」5/12(金)1年算数科の巻

授業が始まる前から教科書を開いて待っている子が何人もいました。そして「今日は『10をつくろう』だよ」と深本未央先生が言うと「やっぱり!」と嬉しそうに反応する、やる気満々のかわいい1年生です。

これまでは10をさくらんぼのように2つに分けて書いて考える方法でしたが、今日はもうその方法は使いません。まず練習として、先生が数字のカードを示し、 $2 \rightarrow 8$ 、 $4 \rightarrow 6$ 、 $7 \rightarrow 3$ というように残りの数を皆で答える問題に取り組みました。

「もう10が作れそうだね」と先生がさりげなく子供たちのプライドをくすぐり、教科書の問題に移りました。たくさん数字が並んでいる中から、合わせて10になるペアを探して○で囲みます。子供たちは夢中になって教科書に書き込んでいました。

その後、皆で答え合わせをしました。「合っています!」の声が元気よく響きました。時々うっかり間違える子もいましたが、先生が大きなおはじきを動かすのを見て正しい答えを確かめました。黒板を見る目が真剣です。

「これからも、さくらんぼがなくても10が作れるように勉強しましょうね」と先生。終わりのあいさつも元気にできました。



おまけのくひとごと > 1年生の算数の授業の途中、教科書を黒板に映し出す「書画カメラ」の準備のために、急ぎょ校内電話で職員室にヘルプを要請しました。すぐに駆けつけてくれたのは松島先生でした。松島先生は教室の戸棚にしまっていたコードを探しだし、てきばきと配線して授業で使えるよう整えてくれました。1年生の子供たちは「4年生の先生だ」「お姉ちゃんの担任の先生だ」などとしばし注目し、作業が終わり職員室に戻ろうとする先生に「ありがとうございます」と感謝の言葉を口々に伝えていました。職員室での仕事を中断して快く駆けつけ、笑顔で助けてくれた松島先生は、確かに正義のヒーローのようでした。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。